

「薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する世論調査」の概要

令和元年 10 月
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,667 人 (55.6%)
	調査期間	令和元年 8 月 22 日～9 月 1 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	<ol style="list-style-type: none">1 抗生物質の理解度について2 抗生物質の服薬に関する意識について3 薬剤耐性の理解度について4 薬剤耐性対策の理解度について	

1 抗生物質の理解度について

(1) 抗生物質について知っていること

問1 あなたは、薬の分類の一つである「抗生物質」について、知っていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

- ・細菌が増えるのを抑える (上位4項目)
66.2%
- ・ペニシリンは抗生物質の一つである 42.6%
- ・様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある 39.4%
- ・風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない 37.8%
- ・名前を聞いたことはあるが、どういうものかは知らない 12.7%

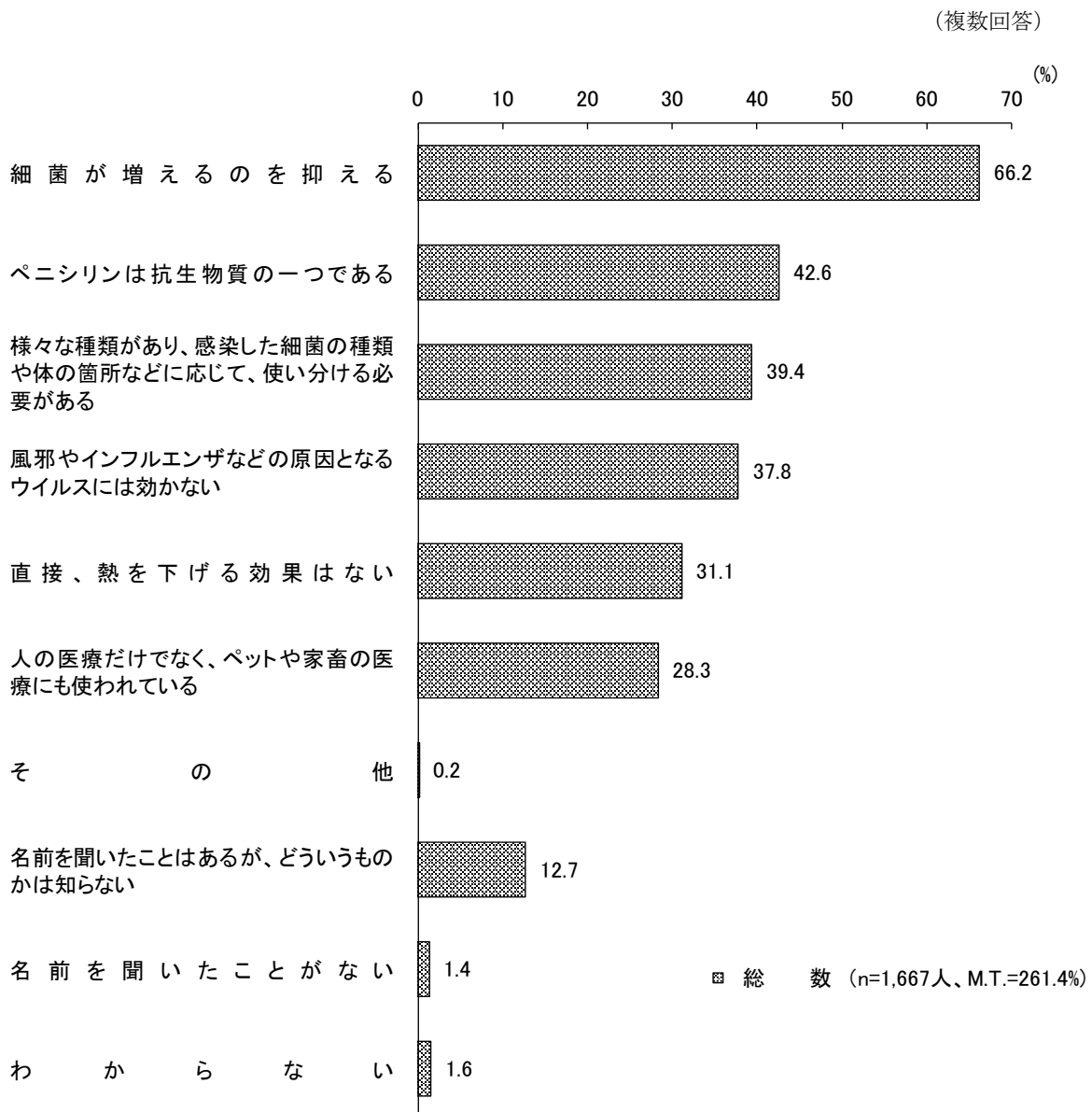


表1 抗生物質について知っていること

(複数回答)

			該 当 者 数	細 菌 が 増 える の を 抑 える	ペ ニ シ リン は 抗 生 物 質 の 一 つ で あ る	様 々 な 種 類 が あ り 、 感 染 し た 細 菌 の 種 類 や 体 の 箇 所 な ど に 応 じ て 、 使 い 分 け る 必 要 が あ る	風 邪 や イン フル エン ザ な ど の 原 因 と な る ウ イ ル ス に は 効 か な い	直 接 、 熱 を 下 げ る 効 果 は な い	人 の 医 療 に も 使 わ れ て い る	そ の 他	名 前 を 聞 い た こ と は あ る が 、 ど う い う も の か は 知 ら な い	名 前 を 聞 い た こ と が な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
			人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総		数	1,667	66.2	42.6	39.4	37.8	31.1	28.3	0.2	12.7	1.4	1.6	261.4
[性]												
男		性	782	64.1	48.1	36.1	33.4	29.2	28.9	0.3	12.8	1.9	1.3	255.9
女		性	885	68.1	37.7	42.4	41.7	32.9	27.8	0.2	12.7	0.9	1.9	266.3
[年	齢												
18	～	29	143	62.9	33.6	36.4	27.3	42.0	27.3	-	14.7	2.8	0.7	247.6
30	～	39	191	69.6	32.5	36.6	46.6	37.7	25.1	-	12.0	0.5	-	260.7
40	～	49	306	75.2	38.9	47.4	50.0	43.5	33.3	-	8.8	0.3	-	297.4
50	～	59	249	75.5	45.4	48.2	44.6	38.2	41.4	0.4	9.2	0.4	0.8	304.0
60	～	69	299	70.6	54.5	44.1	35.5	23.7	30.8	-	9.4	1.0	1.0	270.6
70	歳	以 上	479	52.6	42.8	28.8	27.6	18.4	18.4	0.6	18.8	2.7	4.4	215.0

2 抗生物質の服薬に関する意識について

(1) 抗生物質を医師・薬剤師の指示どおり飲んでいるか

問2 あなたは、抗生物質が処方された時、医師や薬剤師の指示どおりに、飲む量、回数、及び期間をすべて守って飲むことを意識していますか。この中から1つだけお答えください。
(資料1)

- ・ 医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している 82.0%
- ・ 指示どおり飲まないことがある (小計) 13.0%
 - ・ 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある 9.5%
 - ・ 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある 2.8%
 - ・ 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない **0.7%**
- ・ 薬を飲む機会がない 4.4%

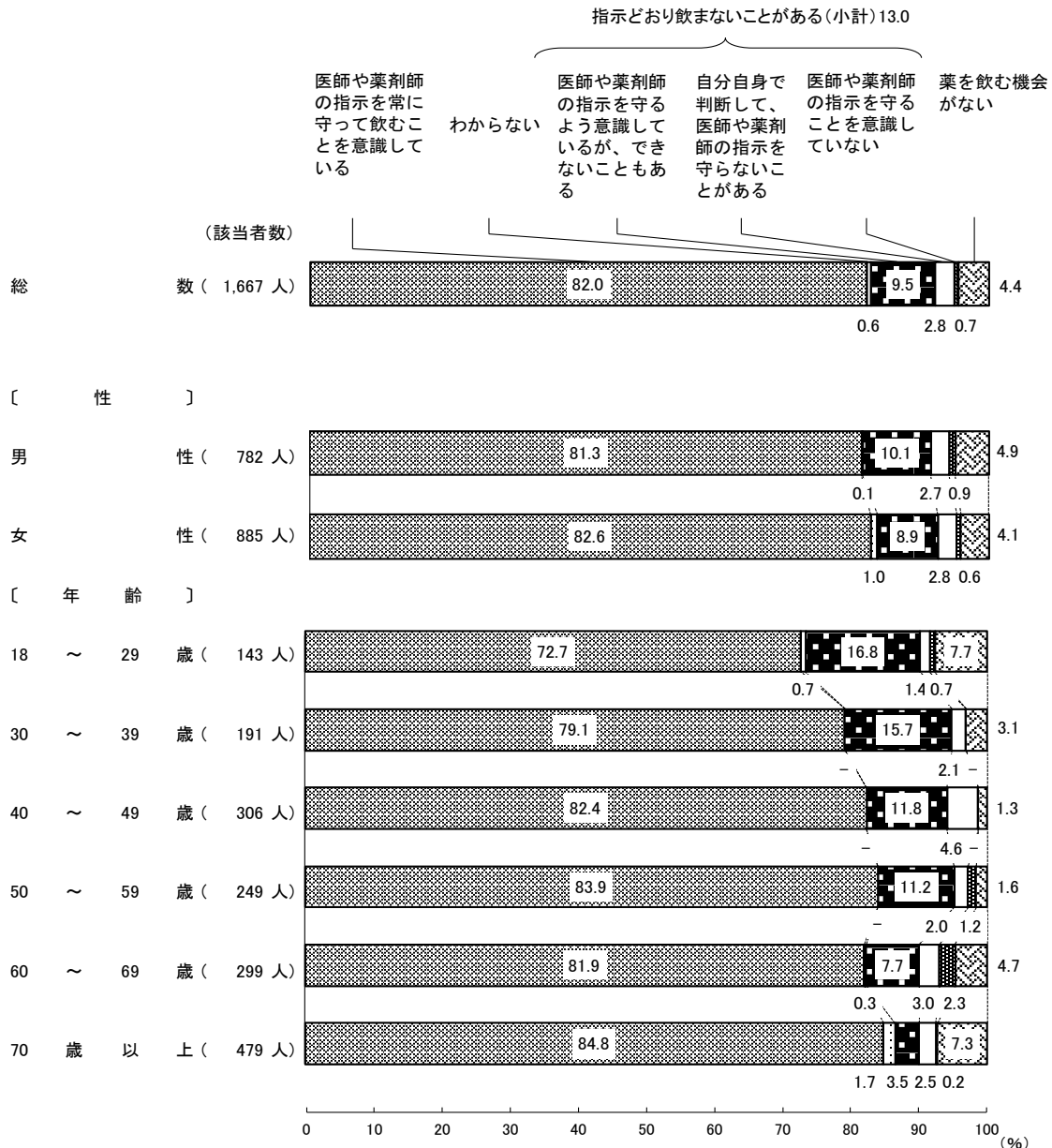


表2 抗生物質を医師・薬剤師の指示どおり飲んでいるか

	該 当 者 数	医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している	指示どおり飲まないことがある (小計)				医師や薬剤師の指示を守らない 医師や薬剤師の指示を守ること を認識していない	薬を飲む機会がない	わからない
			%	%	%	%			
総数	1,667	82.0	13.0	9.5	2.8	0.7	4.4	0.6	
〔性別〕									
男	782	81.3	13.7	10.1	2.7	0.9	4.9	0.1	
女	885	82.6	12.3	8.9	2.8	0.6	4.1	1.0	
〔年齢〕									
18～29歳	143	72.7	18.9	16.8	1.4	0.7	7.7	0.7	
30～39歳	191	79.1	17.8	15.7	2.1	-	3.1	-	
40～49歳	306	82.4	16.3	11.8	4.6	-	1.3	-	
50～59歳	249	83.9	14.5	11.2	2.0	1.2	1.6	-	
60～69歳	299	81.9	13.0	7.7	3.0	2.3	4.7	0.3	
70歳以上	479	84.8	6.3	3.5	2.5	0.2	7.3	1.7	

(ア) 指示どおり飲めない理由

更問 「(イ) 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「(ウ) 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「(エ) 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた方 (216人) に
 あなたは、抗生物質を飲むとき、医師や薬剤師の指示どおりに飲めないことがあるのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)

- ・途中で治ったらそれ以上必要と思わないから 52.3%
- ・そもそも薬を飲むのは最低限にしたいから 35.6%
- ・指示通り飲むのを忘れてしまうから 34.7%

〔 抗生物質が処方された時、「医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた者に、複数回答 〕

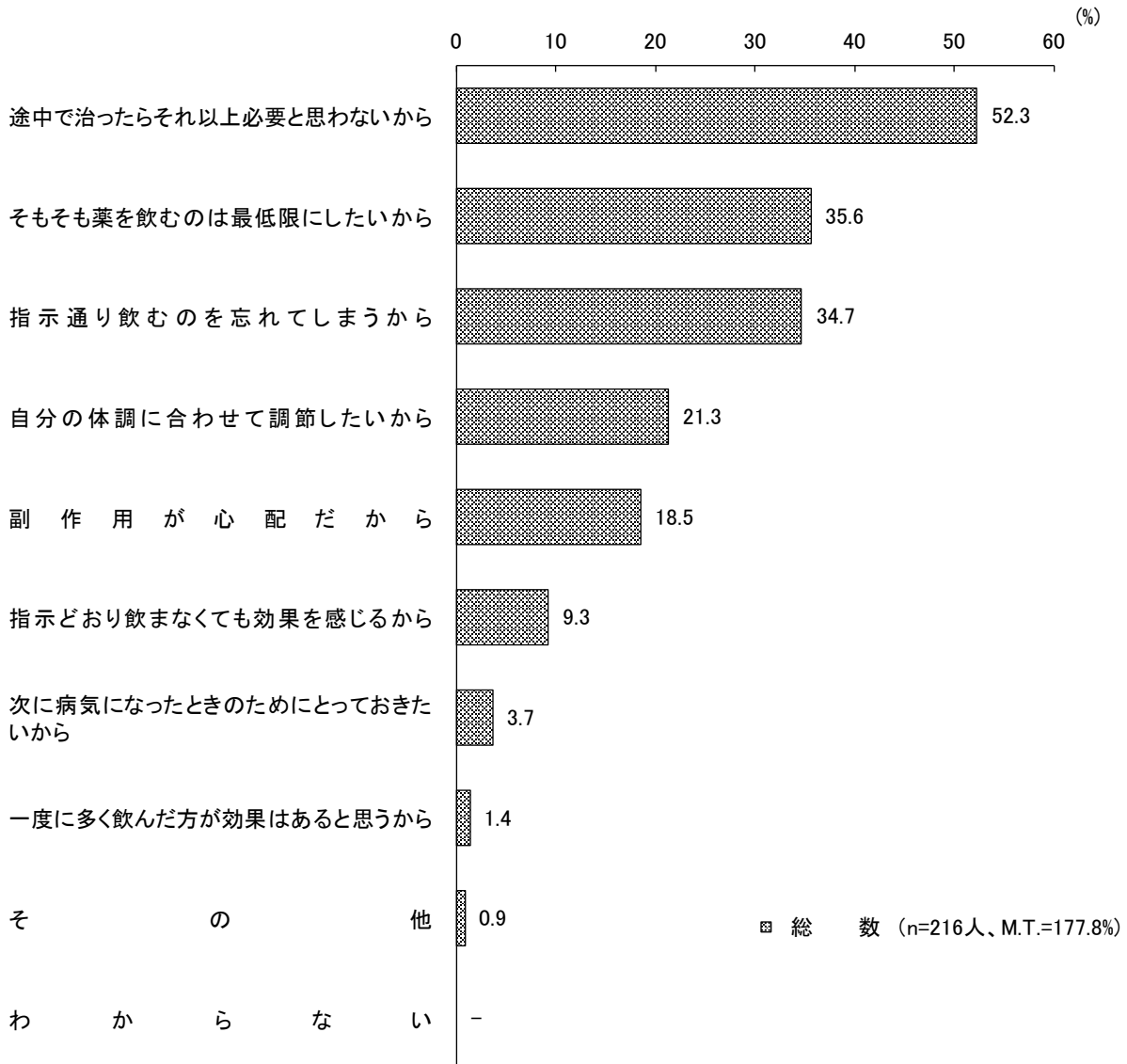


表3 指示どおり飲めない理由

抗生物質が処方された時、「医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた者に、複数回答

			該 当 者 数	途 中 で 治 つ た ら そ れ 以 上 必 要 と 思 わ な い	そ も そ も 薬 を 飲 む の は 最 低 限 に し た い か	指 示 通 り 飲 む の を 忘 れ て し ま う か	自 分 の 体 調 に 合 わ せ て 調 節 し た い か	副 作 用 が 心 配 だ か	ら 指 示 ど お り 飲 ま な く も 効 果 を 感 じ る か	次 に 病 気 に な つ た と き の た め に と つ て お き た い か	か 一 度 に 多 く 飲 ん だ 方 が 効 果 は あ る と 思 う	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)	
			人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総		数	216	52.3	35.6	34.7	21.3	18.5	9.3	3.7	1.4	0.9	-		177.8
[性]													
男		性	107	50.5	33.6	39.3	18.7	16.8	7.5	2.8	0.9	-	-		170.1
女		性	109	54.1	37.6	30.3	23.9	20.2	11.0	4.6	1.8	1.8	-		185.3
[年	齢													
18	～	29	歳	27	51.9	11.1	51.9	25.9	3.7	3.7	-	-	-	-	148.1
30	～	39	歳	34	55.9	32.4	47.1	26.5	23.5	5.9	-	2.9	-	-	194.1
40	～	49	歳	50	52.0	34.0	36.0	20.0	18.0	6.0	4.0	2.0	2.0	-	174.0
50	～	59	歳	36	52.8	30.6	30.6	19.4	11.1	8.3	8.3	2.8	2.8	-	166.7
60	～	69	歳	39	48.7	46.2	35.9	10.3	23.1	12.8	7.7	-	-	-	184.6
70	歳	以	上	30	53.3	56.7	6.7	30.0	30.0	20.0	-	-	-	-	196.7

(注) 該当者数が少数の項目については、取り扱いに注意を要する。

3 薬剤耐性の理解度について

(1) 薬剤耐性についてどの程度知っているか

問3 あなたは「薬剤耐性」についてどの程度知っていますか。この中から1つだけお答えください。

・知っている (小計)	<u>49.9%</u>
・よく知っている	18.7%
・言葉だけ知っている	31.2%
・知らない	48.7%

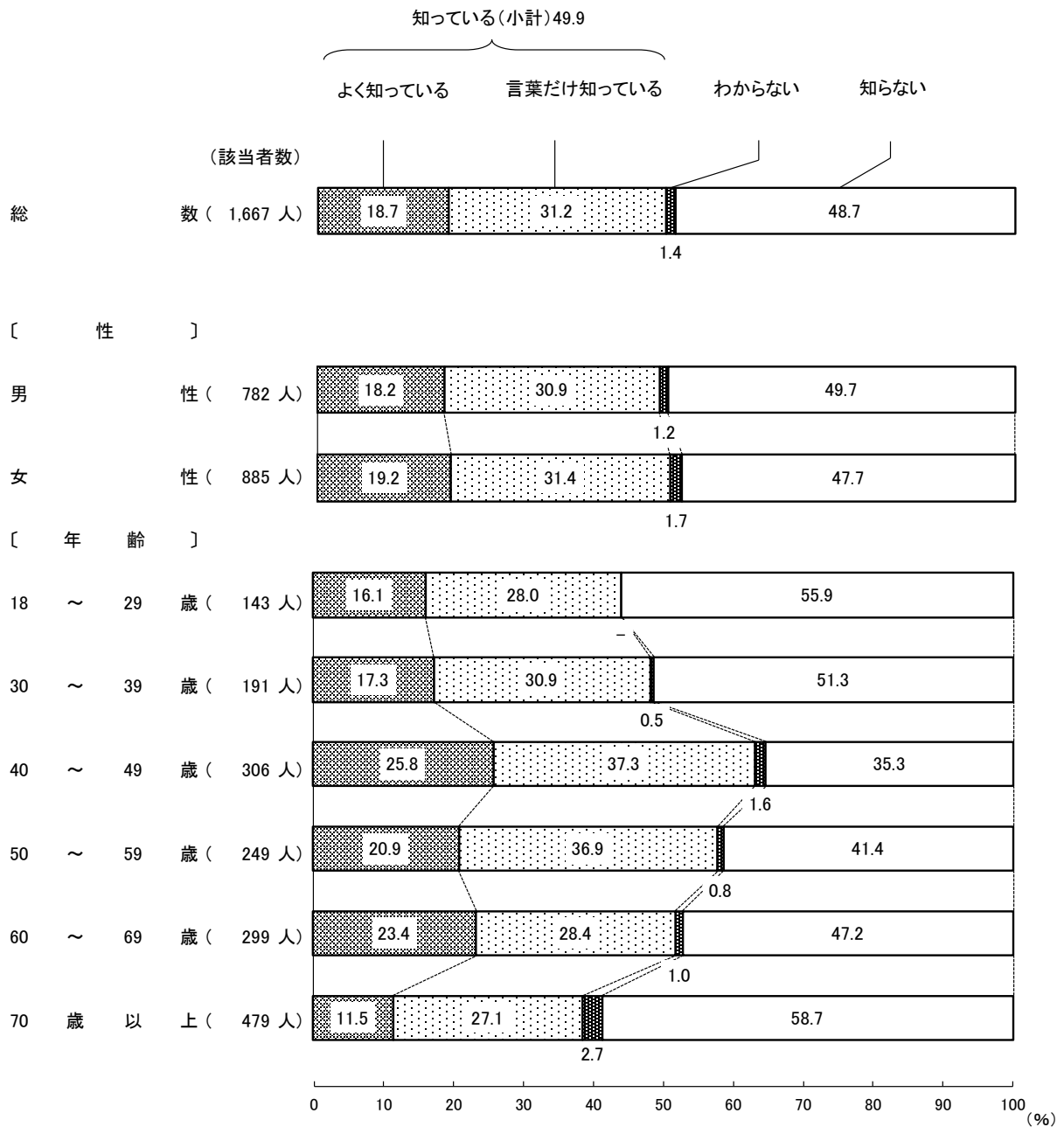


表4 薬剤耐性についてどの程度知っているか

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知 ら な い		わ か ら な い	
			よ く 知 っ て い る	言 葉 だ け 知 っ て い る		知 ら な い
総 〔 性 〕 数	1,667	49.9	18.7	31.2	48.7	1.4
男 女	782 885	49.1 50.6	18.2 19.2	30.9 31.4	49.7 47.7	1.2 1.7
〔 年 齢 〕						
18 ~ 29 歳	143	44.1	16.1	28.0	55.9	-
30 ~ 39 歳	191	48.2	17.3	30.9	51.3	0.5
40 ~ 49 歳	306	63.1	25.8	37.3	35.3	1.6
50 ~ 59 歳	249	57.8	20.9	36.9	41.4	0.8
60 ~ 69 歳	299	51.8	23.4	28.4	47.2	1.0
70 歳 以 上	479	38.6	11.5	27.1	58.7	2.7

(ア) どのようなことを知っているか

更問1 「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方 (832 人) に
あなたは、「薬剤耐性」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつ
でもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)

- ・ 感染症を起こす菌に抗生物質が効かなくなる 75.6%
- ・ 抗生物質を正しく飲まない、薬剤耐性菌が体の中で増えるおそれがある 53.7%
- ・ 日本だけでなく、世界中で薬剤耐性菌が見つまっている 37.9%

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

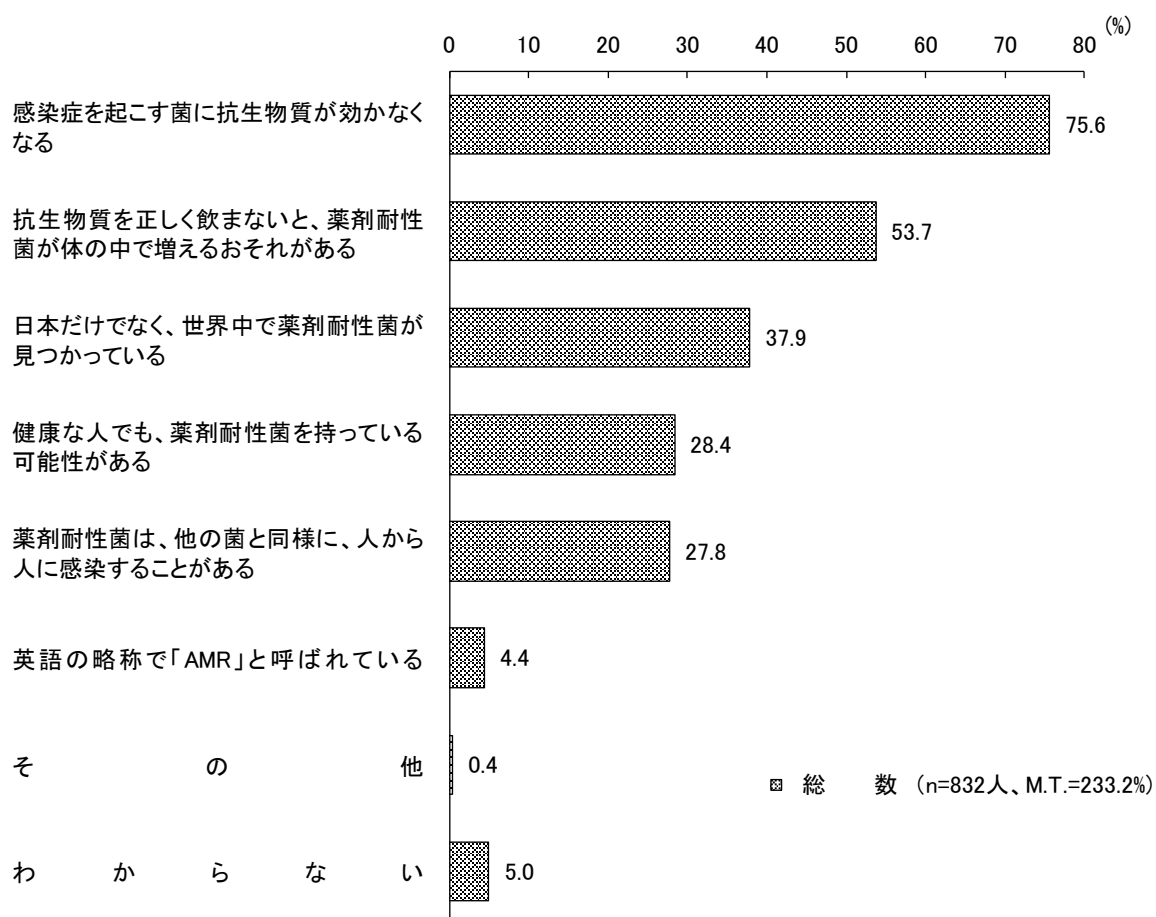


表5 どのようなことを知っているか

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	る 感 染 症 を 起 こ す 菌 に 抗 生 物 質 が 効 か な く な	が 抗 生 物 質 を 正 し く 飲 ま な い と、 薬 剤 耐 性 菌	つ 日 本 だ け で な く、 世 界 中 で 薬 剤 耐 性 菌 が 見	能 健 康 な 人 で も、 薬 剤 耐 性 菌 を 持 っ て い る 可	に 薬 剤 耐 性 菌 は、 他 の 菌 と 同 様 に、 人 か ら 人	英 語 の 略 称 で 「 A M R 」 と 呼 ば れ て い る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 男 女 〔 年 齢 〕 〕	832	75.6	53.7	37.9	28.4	27.8	4.4	0.4	5.0	233.2
性 〔 性 〕	384	73.2	53.1	41.4	27.9	29.9	3.9	0.3	5.2	234.9
〔 年 齢 〕	448	77.7	54.2	34.8	28.8	25.9	4.9	0.4	4.9	231.7
18 ～ 29 歳	63	69.8	54.0	34.9	39.7	25.4	7.9	-	3.2	234.9
30 ～ 39 歳	92	83.7	51.1	33.7	22.8	21.7	2.2	-	2.2	217.4
40 ～ 49 歳	193	81.3	60.6	40.9	29.5	31.6	4.1	0.5	3.6	252.3
50 ～ 59 歳	144	78.5	56.3	40.3	29.2	29.9	4.9	0.7	3.5	243.1
60 ～ 69 歳	155	76.1	56.1	43.2	28.4	29.7	5.2	-	3.9	242.6
70 歳 以 上	185	64.9	43.8	31.4	25.4	24.3	3.8	0.5	10.8	204.9

(イ) 薬剤耐性についての情報入手先

更問2 「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方 (832 人) に
 あなたは、「薬剤耐性」についてどこから情報を得ましたか。この中からいくつでもあげ
 てください。(複数回答)

(上位2項目)

- ・テレビ・ラジオ・新聞 49.9%
- ・医師 29.4%

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

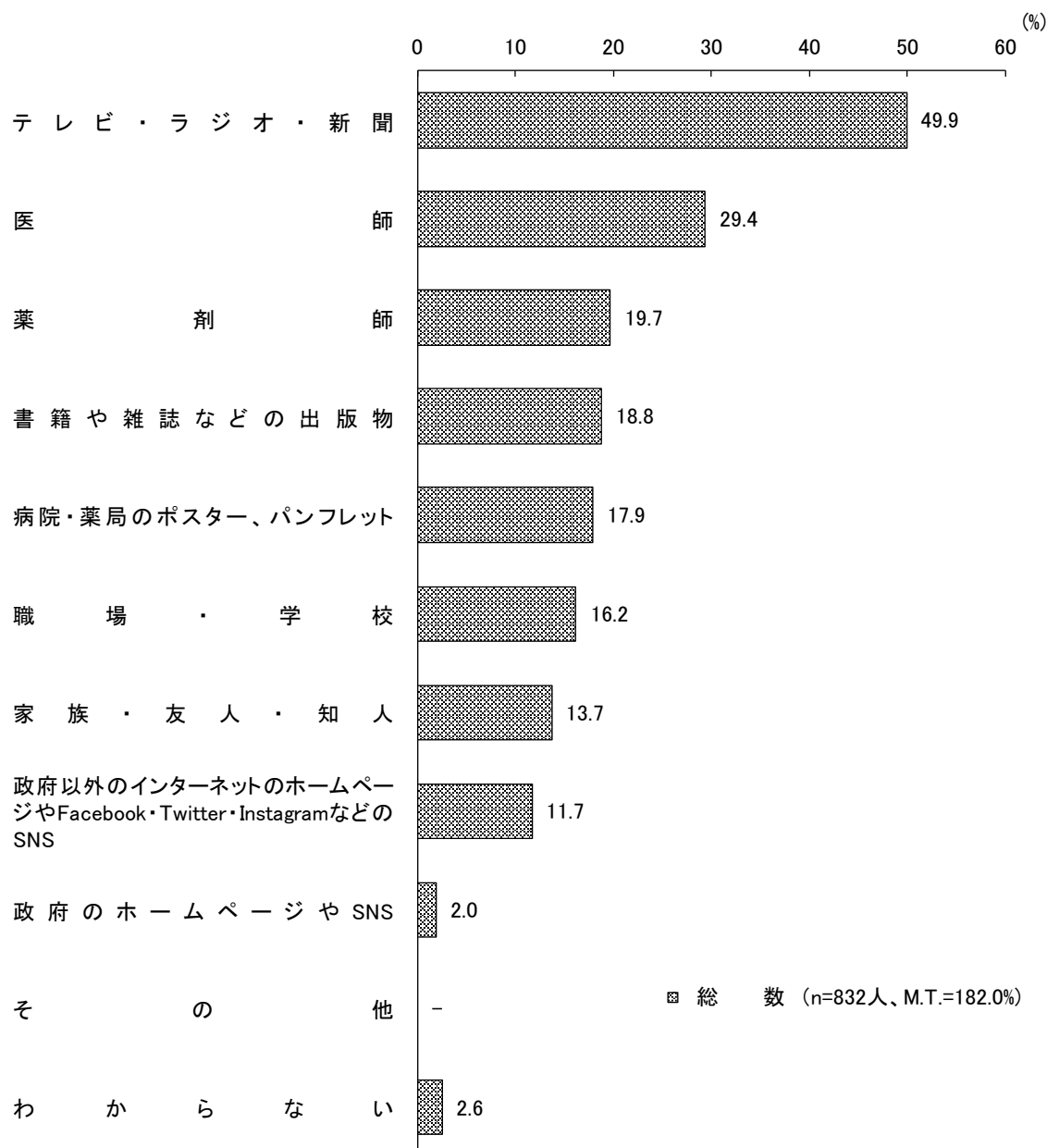


表6 薬剤耐性についての情報入手先

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

			該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 新 聞	医 師	薬 師 剤	書 籍 や 雑 誌 な ど の 出 版 物	病 院 ・ 薬 局 の ポ ス タ ー 、 パ ン フ レ ッ ト	職 場 ・ 学 校	家 族 ・ 友 人 ・ 知 人	I n s t a g r a m な ど の S N S や F a c e b o o k ・ T w i t t e r ・ ジ 政府以外のインターネットのホームページやSNS	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ や S N S	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
			人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総		数	832	49.9	29.4	19.7	18.8	17.9	16.2	13.7	11.7	2.0	-	2.6	182.0
[性]													
男		性	384	51.0	30.5	20.8	19.8	16.4	15.9	12.2	15.4	3.1	-	1.6	186.7
女		性	448	48.9	28.6	18.8	17.9	19.2	16.5	15.0	8.5	1.1	-	3.6	177.9
[年	齢													
18	～	29	63	33.3	22.2	12.7	14.3	15.9	38.1	15.9	15.9	6.3	-	-	174.6
30	～	39	92	45.7	20.7	16.3	18.5	16.3	23.9	17.4	17.4	2.2	-	1.1	179.3
40	～	49	193	47.2	25.4	13.5	19.7	18.7	18.7	13.0	15.5	0.5	-	2.1	174.1
50	～	59	144	53.5	29.9	14.6	18.1	18.8	16.7	9.7	13.2	2.1	-	1.4	177.8
60	～	69	155	56.1	33.5	23.9	23.9	17.4	13.5	12.9	7.1	2.6	-	1.9	192.9
70	歳	以 上	185	52.4	36.8	30.8	15.7	18.4	4.3	15.7	5.9	1.6	-	6.5	188.1

4 薬剤耐性対策の理解度について

(1) 薬剤耐性菌を増やさないための心がけ

問4 薬剤耐性菌を増やさないためには、次のようなことが有効とされています。あなたは、薬剤耐性菌を増やさないために心がけていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答) (資料2)

(上位4項目)

- ・ 抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る 69.4%
- ・ 手洗い、マスクをつけるなどの感染予防対策 54.1%
- ・ 抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない 40.1%
- ・ むやみに抗生物質の処方を希望しない 29.9%

(複数回答)

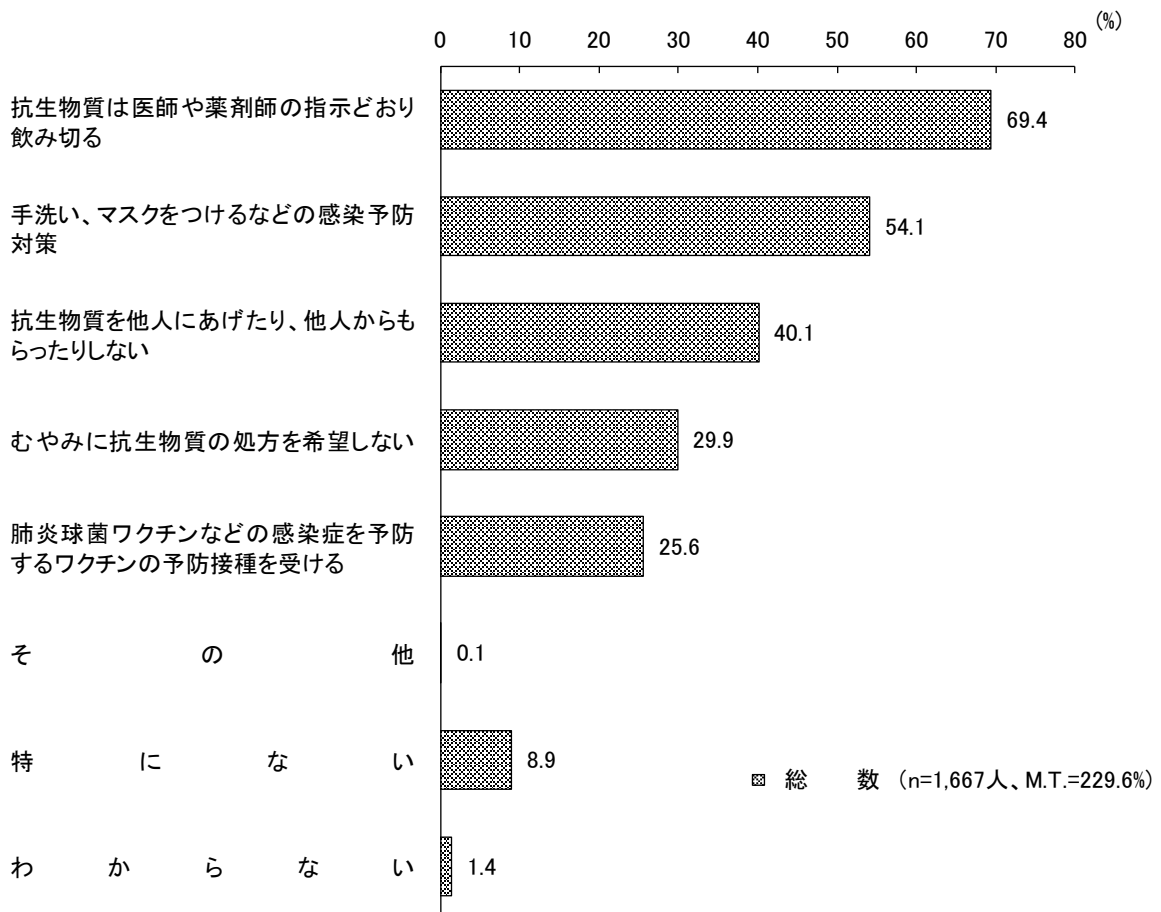


表7 薬剤耐性菌を増やさないための心がけ

(複数回答)

			該 当 者 数	抗 生 物 質 は 医 師 や 薬 剤 師 の 指 示 ど お り 飲 み 切 る	手 洗 い 、 マ ス ク を つ け る な ど の 感 染 予 防 対 策	抗 生 物 質 を 他 人 に あ げ た り 、 他 人 か ら も ら つ た り し な い	む や み に 抗 生 物 質 の 処 方 を 希 望 し な い	肺 炎 球 菌 ワ ク チ ン の 予 防 接 種 を 受 け る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
			人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総		数	1,667	69.4	54.1	40.1	29.9	25.6	0.1	8.9	1.4	229.6
[性]										
男		性	782	64.8	46.8	33.8	25.6	20.1	0.1	12.4	1.2	204.7
女		性	885	73.4	60.6	45.8	33.8	30.4	-	5.9	1.7	251.5
[年	齢										
18	～	29	歳	143	55.2	61.5	43.4	21.7	-	12.6	0.7	217.5
30	～	39	歳	191	67.5	52.9	41.4	27.7	-	10.5	-	216.2
40	～	49	歳	306	73.2	55.9	46.4	30.4	-	7.8	0.7	236.9
50	～	59	歳	249	75.9	56.6	50.2	32.9	18.1	0.4	0.8	241.8
60	～	69	歳	299	73.6	53.5	35.1	31.4	-	7.0	1.7	233.1
70	歳	以	上	479	66.0	50.3	32.6	30.5	-	10.2	2.9	225.3

薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する世論調査

令和元年8月

調査時期：令和元年8月22日から令和元年9月1日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,667人(55.6%)

1 抗生物質の理解度について

Q1【回答票1】あなたは、薬の分類の一つである「抗生物質」について、知っていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (66.2) (ア) 細菌が増えるのを抑える
- (37.8) (イ) 風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない
- (31.1) (ウ) 直接、熱を下げる効果はない
- (42.6) (エ) ペニシリンは抗生物質の一つである
- (39.4) (オ) 様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある
- (28.3) (カ) 人の医療だけでなく、ペットや家畜の医療にも使われている
- (12.7) (キ) 名前を聞いたことはあるが、どういうものかは知らない
- (1.4) (ク) 名前を聞いたことがない
- (0.2) その他 ()
- (1.6) わからない (M.T.=261.4)



(Q2へ)

2 抗生物質の服薬に関する意識について

(【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料1】

「抗生物質」と一般的に呼ばれている薬は、溶連菌感染症や中耳炎などの感染症の治療に使われる薬を指します。このあとの質問では「抗生物質」は感染症の薬と考えてお答えください。

Q2【回答票2】あなたは、抗生物質が処方された時、医師や薬剤師の指示どおりに、飲む量、回数、及び期間をすべて守って飲むことを意識していますか。この中から1つだけお答えください。

(82.0) (ア) 医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している → (Q3へ)

(9.5) (イ) 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある

(2.8) (ウ) 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある

(0.7) (エ) 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない

(4.4) (オ) 薬を飲む機会がない

(0.6) わからない → (Q3へ)

(Q2で「(イ) 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「(ウ) 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「(エ) 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた方に)

SQ【回答票3】あなたは、抗生物質を飲むとき、医師や薬剤師の指示どおりに飲めないことがあるのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=216)

(52.3) (ア) 途中で治ったらそれ以上必要と思わないから

(18.5) (イ) 副作用が心配だから

(35.6) (ウ) そもそも薬を飲むのは最低限にしたいから

(1.4) (エ) 一度に多く飲んだ方が効果はあると思うから

(34.7) (オ) 指示通り飲むのを忘れてしまうから

(21.3) (カ) 自分の体調に合わせて調節したいから

(9.3) (キ) 指示どおり飲まなくても効果を感じるから

(3.7) (ク) 次に病気になったときのためにとっておきたいから

(0.9) その他 ()

(-) わからない

(M.T.=177.8)



(Q3へ)

3 薬剤耐性の理解度について

(全員の方に)

Q 3 [回答票 4] あなたは「薬剤耐性」についてどの程度知っていますか。
この中から 1 つだけお答えください。

(18.7) (ア) よく知っている

(31.2) (イ) 言葉だけ知っている

(48.7) (ウ) 知らない

(1.4) わからない

→ (Q 4 へ)

(Q 3 で「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方に)

S Q 1 [回答票 5] あなたは、「薬剤耐性」について、どのようなことを知っていますか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=832)

(75.6) (ア) 感染症を起こす菌に抗生物質が効かなくなる

(53.7) (イ) 抗生物質を正しく飲まない、薬剤耐性菌が体の中で増えるおそれがある

(27.8) (ウ) 薬剤耐性菌は、他の菌と同様に、人から人に感染することがある

(37.9) (エ) 日本だけでなく、世界中で薬剤耐性菌が見つかっている

(28.4) (オ) 健康な人でも、薬剤耐性菌を持っている可能性がある

(4.4) (カ) 英語の略称で「^{エーエムアール}AMR」と呼ばれている

(0.4) その他 ()

(5.0) わからない

(M.T.=233.2)

(Q 3 で「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方に)

S Q 2 [回答票 6] あなたは、「薬剤耐性」についてどこから情報を得ましたか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=832)

(29.4) (ア) 医師

(19.7) (イ) 薬剤師

(17.9) (ウ) 病院・薬局のポスター、パンフレット

(11.7) (エ) 政府以外のインターネットのホームページや ^{フェイスブック} Facebook・^{ツイッター} Twitter・^{インスタグラム} Instagram
などの SNS

(2.0) (オ) 政府のホームページや SNS

(49.9) (カ) テレビ・ラジオ・新聞

(18.8) (キ) 書籍や雑誌などの出版物

(16.2) (ク) 職場・学校

(13.7) (ケ) 家族・友人・知人

(-) その他 ()

(2.6) わからない

(M.T.=182.0)



(Q 4 へ)

4 薬剤耐性対策の理解度について

(全員の方に)

(【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料2】

感染症の原因となる細菌に抗菌薬、いわゆる抗生物質が効きにくくなる、又は効かなくなることを「薬剤耐性」といいます。また、抗生物質に耐性を持った菌のことを「薬剤耐性菌」といいます。

体の中で薬剤耐性菌が増えてしまうと、抗生物質が効かないため、これまでは、処方された薬の用法や用量を守って適切に治療すれば軽症で回復できた感染症であっても、治療が難しくなり、重症化したり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

Q4【回答票7】薬剤耐性菌を増やさないためには、次のようなことが有効とされています。あなたは、薬剤耐性菌を増やさないために心がけていることはありますか。この中から**いくつでも**あげてください。(M.A.)

(69.4) (ア) 抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る

(40.1) (イ) 抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない

(29.9) (ウ) むやみに抗生物質の処方を希望しない

(25.6) (エ) 肺炎球菌ワクチンなどの感染症を予防するワクチンの予防接種を受ける

(54.1) (オ) 手洗い、マスクをつけるなどの感染予防対策

(8.9) (カ) 特にない

(0.1) その他 ()

(1.4) わからない (M.T.=229.6)